



SDGs未来都市 **こまき**

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち

小牧市の環境に関する取組

2025年8月20日



SDGs未来都市とゼロカーボンシティの表明



SDGs未来都市 **こまき**
こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち

- 令和3年5月に、**尾張地域で初の「SDGs未来都市」に選定**
- 同年6月に**「ゼロカーボンシティ」を表明**



愛知県小牧市長 山下 史守朗 殿

貴市におかれましては、この度、地方自治体として2050年の温室効果ガスの実質排出量ゼロ（ゼロカーボンシティ）を目指されることを表明されました。今回の貴市の表明をもちまして、ゼロカーボンシティは国内で405自治体となりました。我が国としての2050年カーボンニュートラルの実現に向け、大変心強く感じております。

近年、国内各地で大規模な災害が多発しているところですが、温室効果ガスの増加に伴い、今後、気象災害の更なる頻発化・激甚化などが予測されております。こうした事態は、もはや「気候変動」ではなく、私たちの生存基盤を揺るがす「気候危機」と表現するべき事態であると考えております。

現在、我が国は新型コロナウイルス感染症への対応と気候危機という二つの危機に直面しておりますが、環境省としては、コロナ前の社会に戻るのではなく、脱炭素社会、循環経済、分散型社会への三つの移行を加速させ、持続可能で強靱な経済社会への「リデザイン（再設計）」を一層強力に進めてまいります。

2050年カーボンニュートラルの実現を進めるためには、今後30年間のうち、とりわけこの5年間、10年間が重要です。このため、パリ協定の目標達成に向け、脱炭素のモデルケースを各地に創り出し、次々と先行地域を広げていく「脱炭素ドミノ」を実現していく必要があると考えております。貴市及び他のゼロカーボンシティと連携しながら、気候変動対策の更なる具体化・加速化に努めてまいります。

環境大臣 小泉進次郎

小牧市の取組（環境側面）



SDGs未来都市 **こまき**
 こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち

年	取組	備考
昭和60年5月15日	小牧市民憲章制定	
平成15年3月	小牧市環境基本計画策定	計画期間 H15～H24 (H19に中間見直し)
平成15年4月	小牧市環境基本条例制定	平成15年4月1日施行
平成17年11月19日	小牧市環境都市宣言	環境フェアにて宣言
平成20年3月	小牧市環境基本計画（改定版）策定	計画期間 H20～H24 5年
平成21年3月	地球温暖化対策地域推進計画	計画期間 H21～H30 (H24に中間見直し)
平成25年3月	第二次小牧市環境基本計画策定 【小牧市地球温暖化計画（区域施策編）】	計画期間 H25～R1
令和2年3月	第三次小牧市環境基本計画策定 【小牧市地球温暖化計画（区域施策編）】	計画期間 R2～R12 (R5～6に中間見直し)

小牧市の取組（環境側面）



SDGs未来都市 **こまき**
 こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち

年	取組	備考
令和3年5月	SDGs未来都市選定	尾張地域で 初
令和3年6月	「ゼロカーボンシティ」を表明	令和3年6月議会で表明
令和5年9月	ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定 伊藤園、麒麟ビバレッジ、アサヒ飲料、豊田通商、小牧市の5者協定	全国で 初
令和7年1月	小牧市食品リサイクルを中心とした脱炭素化及び資源循環の推進に関する連携協定 J&T環境株式会社、アーバンエナジー株式会社、バイオス小牧、小牧市の4者協定	全国で 初
令和7年3月	第三次小牧市環境基本計画（改定版）策定 <ul style="list-style-type: none"> ・小牧市地球温暖化計画（区域施策編） ・生物多様性地域戦略 ・小牧市気候変動適応計画 	計画期間 R7～R12
令和7年4月	「燃やすごみ」を「燃やすしかないごみ（分別がんばったけどこれ以上はリサイクルできないごみ）」に名称変更	
令和7年5月	小牧市環境都市宣言の変更	市制70周年式典にて 令和7年5月18日施行

NEW !! 「小牧市環境都市宣言」 令和7年第1回定例会にて議決 (議案第22号)



SDGs未来都市 **こまき**
こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち

小牧市環境像「尾張野の 四季の恵みが 実感できるまち」

私たちのまち小牧市は、尾張丘陵から濃尾平野へと広がる地形と天然・人工の多様な水系を持ち、小牧山や市の東部に広がる丘陵など、先人より引き継がれた、豊かで美しい自然に恵まれています。

こうした恵まれた環境を享受してきた私たちは、この環境を維持するだけでなく、さらによいものにして、将来の世代に引き継ぐ責務を負っています。

いま、私たちが生きる地球では、**温室効果ガスの排出による地球温暖化や異常気象の増加**、**森林の減少**、**プラスチックごみの海洋流出**、**環境破壊による生物種の減少**など、環境問題が深刻化しており、人類の生存が脅かされています。

私たちは、その原因が日常生活や事業活動など身近な活動に起因していることを改めて認識し、市民一人ひとりが二酸化炭素排出量の削減やごみの減量化、環境に配慮した行動をとるなど、積極的に取り組み、未来のこどもたちに豊かで美しい地球を残すために、人類だけでなく多様な生物にとって良好な環境を保全していかなければなりません。

そこで、私たち小牧市民は

- 一. **カーボンニュートラル**を実現し、**持続可能なまち**を目指します
- 一. **資源循環**を推進し、**環境と産業が調和するまち**を目指します
- 一. **良好な環境**を保全し、**自然と共生するまち**を目指します



SDGs未来都市として取組を強化します

これらを基本に、「尾張野の 四季の恵みが 実感できるまち」「環境都市こまき」の実現に向け、あらゆる主体が協働して取り組むことをここに宣言します。

カーボンニュートラルの実現



SDGs未来都市 **こまき**
こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち

- ・ 公共施設の照明をLED化
- ・ 公用車への電気自動車の導入
- ・ 家庭用LED照明器具買替支援補助金 (R5)
【申請件数】 3,215件



LED補助金の効果

＼小牧市民限定／

家庭用 **LED** 照明器具
買替支援補助金のお知らせ

家庭の電気料金と二酸化炭素排出量の削減につなげるため、家庭の照明器具を蛍光灯などからLED照明器具へ買い替えた方に対し、その経費の一部を補助します。

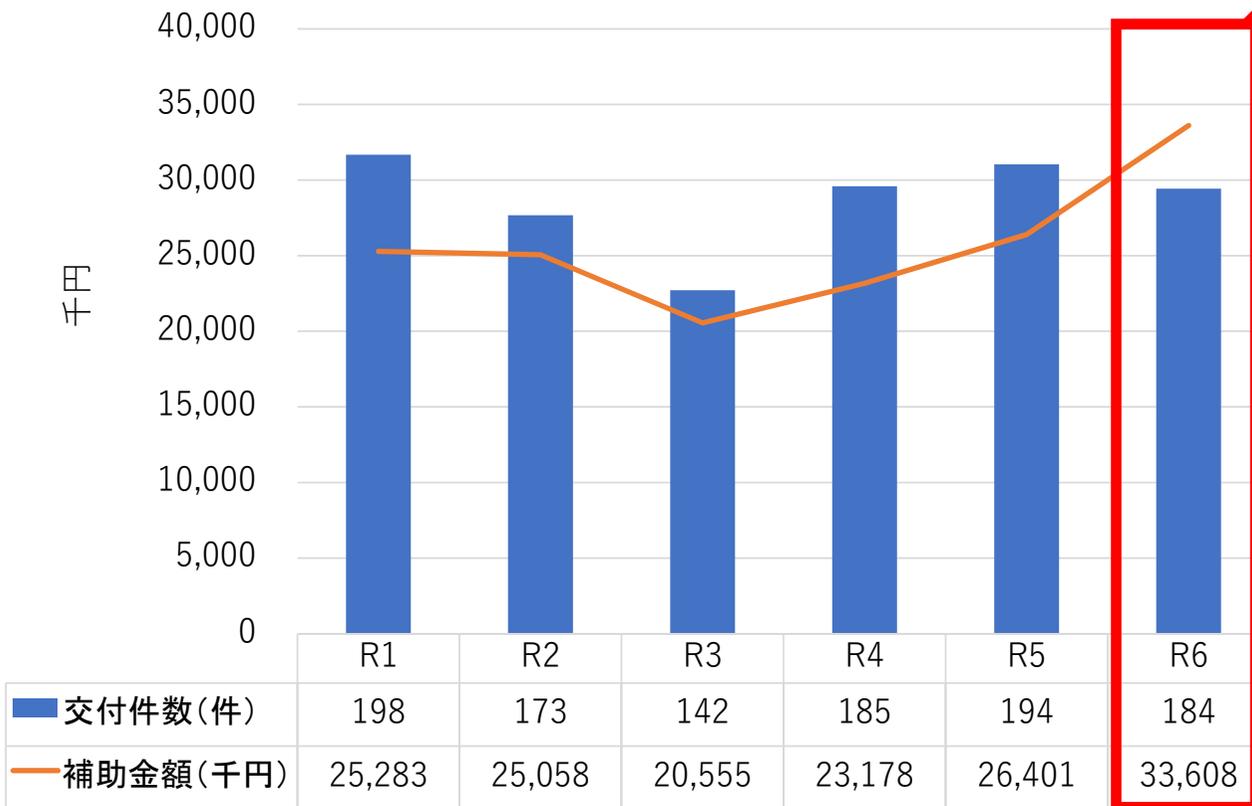


項目	年間削減見込み量
消費電力削減量	556,874kWh
電気料金削減額	17,263,502円
二酸化炭素排出削減	249,997kg



住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金

住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金



蓄電池補助金の拡充
補助額10万円
⇒15万円





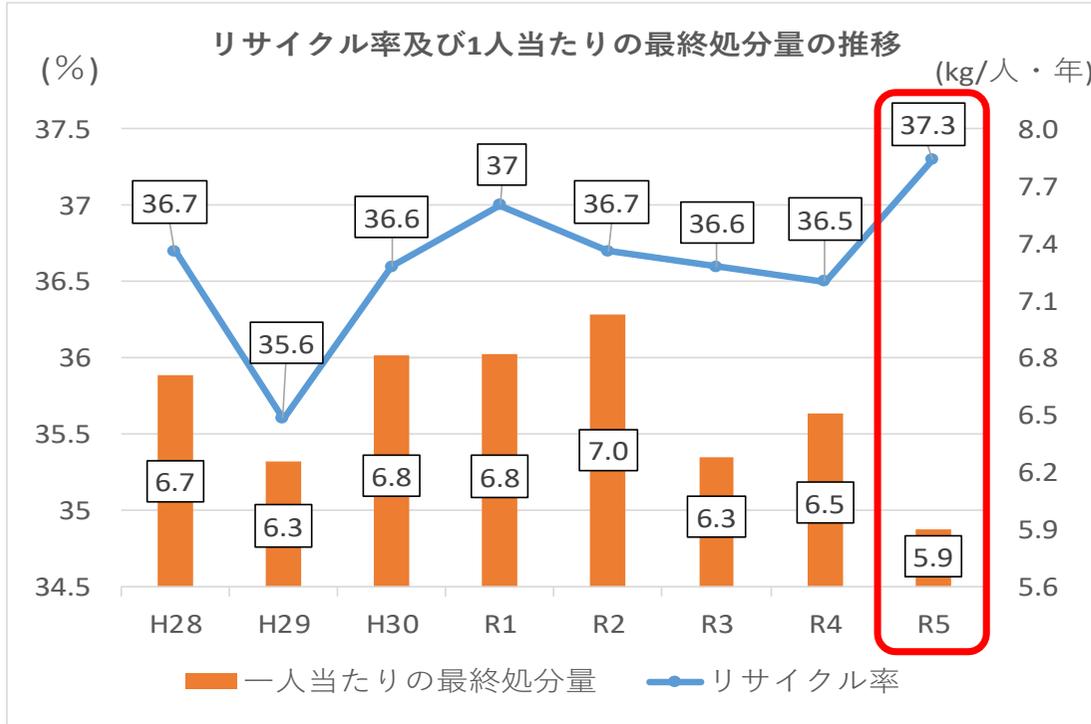
【H28～R5】愛知県下の市の中では、8年連続リサイクル率No.1 【R5実績】ごみ減量化等が進んでいる人口10万人以上（15市）ランキング

順位	一人一日当たり のごみ排出量 (g/人・日)		処理しなければ ならないごみの 一人一日当たりの 量(g/人・日)		一人一日当たりの 家庭系ごみの量 (g/人・日)		リサイクル率 (%)		一人当たりの 最終処分量 (kg/人・年)	
	市	量	市	量	市	量	市	率	市	量
1	稲沢市	730	半田市	599	豊橋市	407	小牧市	37.3	小牧市	5.9
2	春日井市	752	小牧市	612	小牧市	421	半田市	30.9	名古屋市	6.9
3	東海市	760	稲沢市	633	東海市	436	名古屋市	27.4	豊川市	11.5
4	瀬戸市	805	春日井市	657	半田市	441	豊川市	23.6	豊田市	18.8
5	一宮市	813	名古屋市	660	名古屋市	451	豊橋市	21.5	岡崎市	19.9
県平均	-	831	-	677	-	475	-	22.1	-	19.1

資源循環の推進



SDGs未来都市 **こまき**
 こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち



県内の市で

8年連続リサイクル率No.1



令和7年4月から

「燃やすごみ」

→「燃やすしかないごみ」

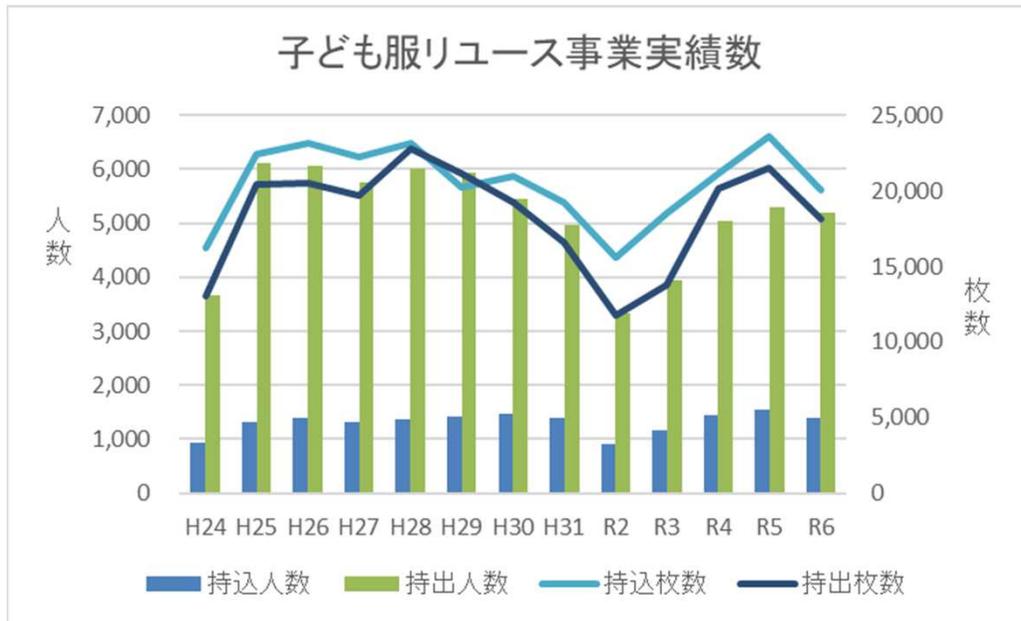
(分別がんばったけど

これ以上はリサイクルできないごみ)に変更



・子ども服リユース事業（H24.4～）

①循環型社会の実現、②ごみの減量化、③子育て支援を目的に、市内の各児童館（計8か所）にて子ども服リユース（くる・くる・くるり）を開始。



事業開始から令和6年度末まで
 利用者数（持出人数）

約66,800人

リユースした服の枚数

約24万着



- 「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」を締結



令和5年9月協定締結
全国初

ペットボトルの水平リサイクル開始
(令和6年4月～)

約393トン (令和6年度実績)

= 500mlペットボトル

約1,474万本分

に生まれ変わります



・リユース実施事業者との連携（①R6.11～）（②R6.12～）



オープン3か月半で
32トン以上の
ごみ削減効果

①不要品の一括査定サービス（おいくら）を提供する株式会社マーケットエンタープライズと協定を締結

②株式会社ジモティーと協定を締結（県内では2例目）

官民連携のリユース拠点「**ジモティースポット小牧**」を**ラピオ小牧内**に開設

まだ使えるモノを、使いたいヒトへ。

ジモティースポット

リユース品をご提供いただくだけで、
地域の為にリユースします。

良好な環境を保全



SDGs未来都市 **こまき**

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち

・小牧市自然環境観察人制度

①水生生物調査

市内の小学校の子どもたちと共に採取、調査



②児童クラブ自然環境講座

市内の校庭や公園の昆虫や植物を採取





③外来種駆除活動

令和元年度から事業者（住友理工(株)、日本特殊陶業(株)、リンナイ(株)、(株)東海理化、(株)アルペン）と協働
特定外来生物「オオキンケイギク」の駆除活動を実施



良好な環境を保全



SDGs未来都市 **こまき**
こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち

- 河川水質測定
年6回14地点で実施（測定項目：pH、DO、BOD、SS）
- 環境保全協定の締結の促進
市民の健康を確保し、快適かつ良好な生活環境を保全するとともに、地球環境の保全に寄与することを目的
騒音、振動、悪臭、水質、大気に加え、地球温暖化対策などグローバルな地球環境の保全まで包含



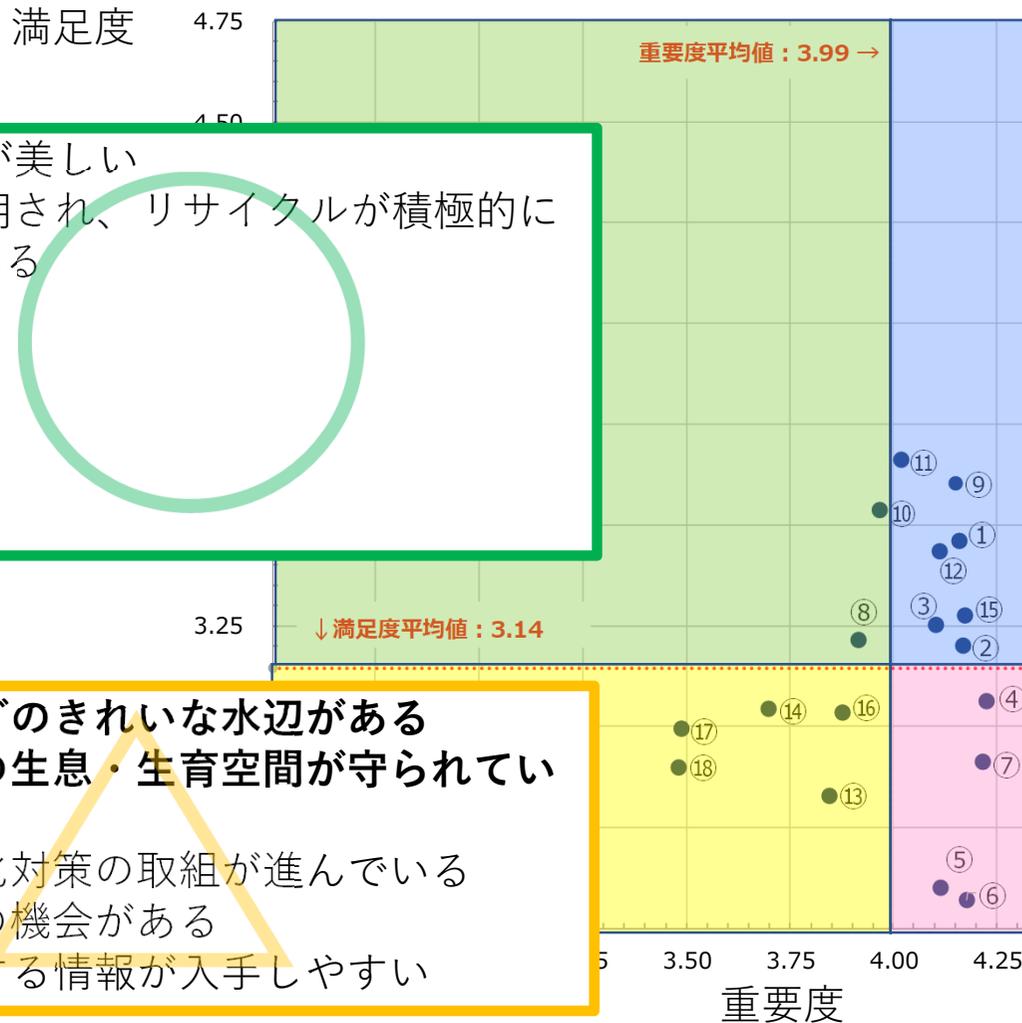
年度	社数
平成16年度	22社
平成21年度	23社
平成22年度	26社
令和4年度	27社

※年度末締結社数

環境に関する課題



SDGs未来都市 **こまき**
 こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち



- ⑧まちなみが美しい
- ⑩資源が活用され、リサイクルが積極的に行われている

- ①空気がきれい
- ②事業者による大気汚染や水質汚濁等の環境対策が徹底されている
- ③化学物質や農薬による環境汚染の防止が図れている
- ⑨ごみの減量化が進み、適切に収集・処理されている
- ⑪緑に恵まれ自然に親しめる
- ⑫快適に歩ける歩道や散歩道、よく利用する公園がある
- ⑮風水害や土砂災害などの対策がされている

- ⑬川や池などのきれいな水辺がある
- ⑭野生生物の生息・生育空間が守られている
- ⑯地球温暖化対策の取組が進んでいる
- ⑰環境学習の機会がある
- ⑱環境に関する情報が入手しやすい

- ④騒音が少ない静かな生活環境が守られている
- ⑤交通渋滞が少ない
- ⑥公共交通機関が充実している
- ⑦不法投棄やポイ捨てなどのごみがなく清潔に保たれている